

平成22年第3回穴水町議会臨時会 会議録

招集年月日 平成22年3月31日(水)

招集場所 穴水町議会議場

応招議員	1番	田方均	7番	小泉一明
	2番	大中正司	8番	加世多善洋
	3番	藏瀬助定	9番	小坂孝純
	4番	山本祐孝	10番	浜崎音男
	5番	伊藤繁男	11番	吉村光広
	6番	曾良昌嗣	12番	橋本安幸

不応招議員 31日 なし

出席議員 31日 応招議員に同じ

欠席議員 31日 不応招議員に同じ

地方自治法第121条の規定により説明のため、会議に出席を求めた者の職氏名。

町長	石川宣雄	副町長	大霜祥栄
教育長	布施東雄		
総務課長	山岸春雄	企画情報課長	新田信明
税務課長	沢田立夫	住民課長	神平浩
健康福祉課長補佐	山口藤治	産業振興課長	吉間篤
出納室長	岩野博	教育委員会 事務局長	米田省一
総合病院 事務局長	小川満	上下水道課長	欠席
基盤整備課長補佐	小谷政一	国民保養センター 所長	吉間篤
保健センター課長	谷大観	復興対策室長	室谷進

本会議に職務の為、出席した者の職氏名。

議会事務局長 二谷康弘 主幹 藤原時政 主事 三宅成子

町長から提出された議案は、次の1件であった。

議案第33号 穴水町副町長の選任について

本議会において追加で執行された選挙は、次の2件であった

選挙第2号 副議長選挙

選挙第3号 議長選挙

議 事 の 経 過

◎開 会

◇

○議長（浜崎音男） 只今から、平成22年第3回穴水町議会臨時会を開会いたします。
只今の出席議員数は12人です。

全員出席でありますので、本日の会議を開きます。

（3月31日・午後3時00分開会・開議）

◎会議録署名議員の指名

◇

○議長（浜崎音男） これより、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第119条の規定により、伊藤繁男君及び曾良昌嗣君を指名します。

◎会期の決定

◇

○議長（浜崎音男） 次に、本臨時会の「会期の決定の件」を議題にいたします。

○議長（浜崎音男） お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日の一日間にいたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浜崎音男） 「異議なし」と認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日の一日にすることに決定いたしました。

これに基づく議事日程は、お手元へ日程表を配布してありますが、事務局長に朗読させます。
二谷事務局長。

【二谷事務局長 朗読】

○議長（浜崎音男） 次に、日程に基づき町長提出議案1件を議題といたします。

これより、町長提出議案の提案理由の説明を求めます。

石川町長。

【町長 石川 宣雄 登壇】

○町長（石川宣雄） 本日ここに、平成22年第3回穴水町議会臨時会を招集いたしましたと

ころ、議員皆様におかれましては、何かとご多用のところ、繰り合わせご出席を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、早速ではございますが、本臨時会に提出致しました議案一件につきまして、その概要をご説明いたします。

議案第33号「穴水町副町長の選任について」は、現副町長の大霜祥栄氏より、本日をもって退任し、石川県へ復帰するとの申し出を受けたところであります。

大霜氏には、3年間にわたり卓越した行政経験を備えた補佐役として、能登半島地震からの復旧・復興や病院再生などの種々の行政課題について適切な判断とご助言をいただいていたところであります。この度の申し出につきましては、ご意志を尊重させていただき、今後の石川県での活躍をご祈念申し上げる次第であります。

つきましては、大霜氏の後任となります。副町長には現総務課長の山岸春雄氏を選任致したく、ご提案申し上げます。

同氏は、皆様方もご存じの通り、昭和43年から42年間穴水町職員として勤務され、その間、企画財政課長補佐、総務課参事、行政改革推進室長などを歴任され、平成18年から現在まで事務方のトップとして総務課長職に専念をされております。

このように豊富な行政経験を有するとともに、人格、識見とも優れ、今後の穴水町政の伸展のため、重要な人材で、最適任者と信ずるものであります。

何卒、ご同意賜わりますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（浜崎音男） お諮りいたします。

只今、提出されました議案第33号につきましては、人事に関する事でありますので、常任委員会での審議を省き、本会議で審議したいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浜崎音男） 異議なしと認めます。

よって、議案第33号は、常任委員会での審議を省き、本会議で審議することに決定いたしました。

議案第33号は、穴水町副町長の選任について、議会の「同意」を求めるものであります。人事に関する事でありますので、質疑・討論を省き、ただちに採決を行いたいと思っておりますがご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浜崎音男） 「異議なし」と認めます。

よって、議案第33号については、質疑・討論を省き、ただちに採決することに決定いたしました。

○議長（浜崎音男） お諮りいたします。

議案第33号、穴水町副町長の選任について、原案どおり「同意」することに賛成の方は、起立願います。

（お座り下さい）

○議長（浜崎音男） 全員起立であります。

よって、議案第33号、穴水町副町長の選任について、原案どおり「同意」することに、決定いたしました。

○議長（浜崎音男） ここで、山岸春雄君より発言を求めておりますので、これを許します。
山岸春雄君。

【山岸 春雄 登壇】

○総務課長（山岸春雄） ただいま、議長よりお許しをいただきましたので、一言だけご挨拶をさせていただきます。

この度、副町長として、町長のご推薦をいただき、只今町議会の全会一致のご同意を頂きました事は、私にとりましても、身に余る光栄であります。その責任の重さを改めて実感しているところでございます。

元より、このような大任を担うことができるか、いささか心配をしているところでございますが、ご選任をいただきました以上は、微力ではありますが、石川町長の補佐役として、町発展と石川町長の公約実現のために、最大の努力をしまいたいというふうに考えております。

皆様方の格別のご指導、ご鞭撻を改めて、お願い申し上げまして、私の挨拶に代えさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（浜崎音男） 次に、大霜副町長より発言を求めておりますので、これを許します。
大霜副町長。

【副町長 大霜 祥栄 登壇】

○副町長（大霜祥栄） 退任するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

能登半島地震直後に着任いたしまして、この3年間石川町長の補佐役として、無事何とかこ

の日を迎えることができました。これも町議会議員の皆様、そして、穴水町住民の皆様それぞれのご理解、ご支援、更には穴水町職員のご協力をいただいたお陰でございます。

この場をお借りしまして、感謝を申し上げたいと思います。

本当に、ありがとうございました。

私は、明日より県庁へ復帰することとなりましたけれども、この3年間、私にとりまして、忘れることのできない3年間ございました。いわば第二のふるさととして、今後も記憶から抜けることのない感じをしております。

微力ながら、しっかり努めさせていただきたいと思います。

議員の皆さんには、石川町長を更に支えていただき、そして、町の発展にご尽力いただきたいと思います。

最後になりますが、議員の皆さん方、そして、石川町長のご健勝を祈念いたしまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

本当に、3年間、ありがとうございました。

◇

○議長（浜崎音男） ここで暫時休憩いたします。

（午後3時10分休憩）

○議長（浜崎音男） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後3時13分再開）

◇

○議長（浜崎音男） 曾良昌嗣君から副議長の辞職願が提出されています。

お諮りいたします。

「副議長の辞職」の件を日程に追加し、議題とすることに、ご異議ありませんか。

（「異議なしの声」あり）

○議長（浜崎音男） 「異議なし」と認めます。

よって、「副議長の辞職」の件を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

これより、「副議長の辞職」の件を議題とします。

地方自治法第117条の規定によって、曾良昌嗣君の退場を求めます。

（曾良 昌嗣議員 退場）

○議長（浜崎音男） 事務局長に辞職願を朗読させます。

二谷事務局長。

(二谷事務局長辞職願を朗読)

○議長(浜崎音男) これより、採決を行います。

お諮りいたします。

曾良昌嗣君の副議長の辞職を許可することに、賛成の方は、起立願います。

(お座り下さい)

○議長(浜崎音男) 全員起立であります。

異議なしと認めます。よって、曾良昌嗣君の副議長の辞職を許可することに決定いたしました。

曾良昌嗣君、議場にお入り下さい。

(曾良 昌嗣議場に入場)

○議長(浜崎音男) ただいま副議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

「副議長の選挙」を日程に追加し、選挙を行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なしの声」あり)

○議長(浜崎音男) 異議なしと認めます。

よって、「副議長の選挙」を日程に追加し、選挙を行うことに決定いたしました。

これより、副議長の選挙を行います。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(浜崎音男) 「異議なし」と認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選で行うことに決定いたしました。

○議長(浜崎音男) お諮りいたします。

指名の方法につきましては、議長において、指名いたしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(浜崎音男) 「異議なし」と認めます。

よって、議長が指名することに決定いたしました。

○議長(浜崎音男) 副議長に 伊藤繁男君を指名いたします。

お諮りいたします。

只今、議長が指名いたしました 伊藤繁男君を、副議長の当選人と定めることに、ご異議あ

りませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(浜崎音男) 「異議なし」と認めます。

よって、副議長に当選されました 伊藤繁男君が議場におられますので、本席から、会議規則第33条第2項の規定によって、当選の告知をします。

○議長(浜崎音男) 副議長に当選されました 伊藤繁男君が発言を求めていますので、これを許します。

副議長。

【伊藤 繁男 登壇】

◎副議長就任挨拶

○5番(伊藤繁男) 一言ご挨拶申し上げます。

さきほど、指名推選で副議長に選ばれた5番伊藤繁男でございます。

これも一重に、皆様方のご厚情とご寛容のお蔭様と心から感謝申し上げます。

大変光栄なことでございますが、穴水町議会の伝統ある名誉を思いますと、一方では、責任の重さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いがしております。

議会運営のことにつきましては、皆様方、良くご存じのことでございますので、改めて申し上げることもありませんが、私自身として、輪を持って尊しとなすを心がけて、努めてまいりたいと思います。

誠に微力ながら職務に全力を傾ける覚悟をしておりますが、何かとつなづな未熟なものでございます。どうか、諸先輩皆様のご指導とご鞭撻を賜ります様、何卒、よろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

◇

○議長(浜崎音男) ここで暫時休憩いたします。

(午後3時19分休憩)

○副議長(伊藤繁男) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後3時22分再開)

◇

○副議長(伊藤繁男) 只今、浜崎音男君から議長の辞職願が提出されましたので、副議長の私が議長に代わって、その職を務めます。

○副議長（伊藤繁男） お諮りいたします。

「議長の辞職」の件を日程に追加し、議題とすることに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（伊藤繁男） 「異議なし」と認めます。

よって、「議長の辞職」の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

地方自治法第117条の規定によって、浜崎音男君の退場を求めます。

（浜崎 音男 退場）

○副議長（伊藤繁男） 事務局長に辞職願を朗読させます。

二谷事務局長。

（二谷事務局長 朗読）

○副議長（伊藤繁男） お諮りいたします。

浜崎音男君の議長の辞職を許可することに、賛成の方は起立願います。

（お座り下さい）

○副議長（伊藤繁男） 全員起立であります。

「異議なし」と認めます。

よって、浜崎音男君の議長の辞職を許可することに決定いたしました。

浜崎音男君、議場にお入り下さい。

（浜崎 音男 入場）

○副議長（伊藤繁男） ただいま、議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

「議長の選挙」を日程に追加し、選挙を行いと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（伊藤繁男） 「異議なし」と認めます。

よって、「議長の選挙」を日程に追加し、選挙を行うことに決定いたしました。

これより、議長の選挙を行います。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推薦によりたいと思
いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（伊藤繁男） 「異議なし」と認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選で行うことに決定いたしました。

○副議長（伊藤繁男） お諮りいたします。

指名も方法につきましては、本職において、指名いたしたいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(伊藤繁男) 「異議なし」と認めます。

よって、本職において指名することに決定いたしました。

議長に、小坂孝純君を指名いたします。

○副議長(伊藤繁男) お諮りいたします。

只今、指名いたしました小坂孝純君を、議長の当選人とすることに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(伊藤繁男) 「異議なし」と認めます。

よって、ただいま指名いたしました小坂孝純君が議長に当選されました。

只今、当選されました小坂孝純君が議場におられますので、本席から、会議規則第三十三条第2項の規定によって、当選の告知をします。

議長に当選されました小坂孝純君が発言を求めておりますので、これを許します。

小坂孝純君。

【小坂 孝純 登壇】

◎新議長当選挨拶

○9番(小坂孝純) このたびは、浜崎前議長、また議員各位にご理解をいただき、穴水町議会議長に推挙していただき、光栄の至りであります。

3月定例会にも申し上げましたが、平成3年議員となり、19年が立ちました。

この間、町執行部、また、議員各位に大変ご迷惑をかけながら、穴水町発展のために頑張ってまいりました。

この間、県道能登穴水線の改良、また、川尻坂の融雪装置、防災無線、あすなろ広場の設置など質問し、ご理解もいただきました。

今、穴水町は難が山積しておりますが、これからも、穴水町発展のため、微力ではありますが、一生懸命尽くしてまいりたいと思います。

執行部はじめ議員各位には、これからも変わらぬ、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、御礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

○副議長(伊藤繁男) これで、副議長の職務は終了いたしました。

小坂議長、議長席にお着きください。

(小坂 孝純 議長席に着席)

○議長(小坂孝純) 私は、議長就任に伴い、教育民生常任委員会副委員長を辞任することにし、この件を日程に追加し、議題とすることに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小坂孝純) 「異議なし」と認めます。

よって、教育民生常任委員会副委員長の選任の件を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

◇

○議長(小坂孝純) ここで暫時休憩いたします。

(午後3時30分休憩)

○議長(小坂孝純) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後3時33分再開)

◇

○議長(小坂孝純) 休憩中に、教育民生常任委員会副委員長の互選が行われました。

その結果、教育民生常任委員会副委員長に 田方均君が互選された旨、を報告いたします。

○議長(小坂孝純) 次に、伊藤繁男君から副議長就任に伴い、議会運営委員の辞任について申し出がありました。この件を日程に追加し、議題とすることに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小坂孝純) 「異議なし」と認めます。

よって、議会運営委員の選任の件を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

議会運営委員の辞任の件を議題といたします。

議会運営委員の辞任を許可することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小坂孝純) 「異議なし」と認めます。

◇

○議長(小坂孝純) ここで暫時休憩いたします。

議員の皆さんは、委員会室にお集まり下さい。

(午後3時35分休憩)

○議長(小坂孝純) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後3時37分再開)



○議長（小坂孝純） それでは、議会運営委員会の選任について、お諮りいたします。

議会運営委員の選任については、委員会条例第7条第1項の規定により、曾良昌嗣君を指名いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小坂孝純） 「異議なし」と認めます。

したがって、ただいま指名しました、曾良昌嗣君を議会運営委員に選任することに決定いたしました。

以上で、本会議に予定されました日程は、全部終了いたしました。

これをもって、平成22年第3回穴水町議会臨時会を閉会いたします。

（午後3時38分 閉議 閉会）

以上、会議の結果を記載し、その相違のないことを証する為、署名する。

平成22年3月31日

前議会議長 浜崎 音 男

新議会議長 小坂 孝 純

署名議員 伊藤 繁 男

署名議員 曾良 昌 嗣